

学校名 久喜市立江面第一小学校
所在地 久喜市北青柳40-1
電話 0480-21-0571

1 本校の概要

本校は久喜市・江面地区にある7つのエリアをなでしこの花弁に見立てた校章のある歴史の深い学校である。また久喜市総合運動公園に近く、周囲に田畑が広々と点在する自然豊かな地域である。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

学校図書館の整備・充実に努め、学習の充実を図るとともに、情報活用能力を育成し、自ら学ぶ意欲と豊かな態度を育てる。

(2) 実践の概要

ア 朝の読書

読書のもつ価値とその必要性を重視し、読書好きな児童の育成を目指して、朝の15分間読書を実践している。読書の苦手な児童であっても、みんなと一緒に本を読めたり、読むことの楽しさを味わわせたりすることをねらいとしている。

また、全校で読書貯金に取り組んでおり、家庭や学校、朝読書で読んだ本の題名と日付をカードに記入している。学期ごとに、児童

に冊数やページ数を聞き、職員室前の廊下に掲示したり、1学期は10冊、2学期は50冊、3学期は90冊以上で表彰している。

イ 図書ボランティアの読み聞かせ

月曜日の朝読書の時間に、月2回程度(10・11月秋の読書週間は毎週)地域の読み聞かせボランティアの方々による「読み聞かせ」を実施している。各学級に2名の方々が来てくださり、学習に沿った本を読み聞かせることもある。

ウ 市立図書館の方によるブックトーク

各学年、年1回、市立図書館の方にテーマを決めてお話をしていただく。

テーマは「海」や「月」などの身近なものから、



「夏休み」「遠足」といった季節の話題が取り上げられている。

エ 家庭と連携した親子読書

夏休みや冬休みを利用し、親子読書に取り組んでいる。学校で借りた図書を親子で読み、感想を児童と家庭から頂くことで、読書に対する興味や関心を高められるようにしている。



オ ALTによる英語の絵本の読み聞かせ

月に一度、昼休みを利用し英語で絵本の読み聞かせを実施している。ALTに読み聞かせ



をしていただくことで、様々な国の文化や行事、発音や話し方等を楽しく学ぶことをねらいとしている。外国の本への興味や関心が高まり、日本語訳の本を手にとる子供に育つことを願っている。英語と日本語で実施日をアナウンスすると、子供の歓声が聞こえるほど子どもたちも楽しみにしている。季節に合った本や、しかけ絵本などを読んでいただけるので、子供たちは、とても楽しみながら学んでいる。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

本に触れる機会を増やし、読書を継続して推奨したことで、本に親しむ児童が増えた。また、総合的な学習の学びに、進んで本を活用する児童が増えた。

(2) 課題

学習指導要領を踏まえ、学校図書館の機能を計画的に活用し、児童の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を充実させることである。

(3) おわりに

授業の中でも学校図書館を利用できるよう、並行読書などをしやすい環境を作っていきたい。